

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200370
事業所名	グループホームたんぽぽ新かんべ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームと地域との相互の交流があり、毎月の地域の資源回収日には、職員とともに利用者が手伝いに出かけている。ホームの駐車場が、子どもたちの“大縄跳び”の練習場になったり、夏休みのラジオ体操の会場になったりする。町民運動会の見学に出かけ、地域の敬老会から誘いがある。祭礼には、子ども神輿がやってくる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） ほぼ2ヶ月に1度、年間6回の運営推進会議が開催されている。行政からは市の担当者や地域包括支援センターの職員、地域代表として民生委員・児童委員、利用者、家族代表等が参加し、ホームからの状況説明や写真によるイベント等の取組みの報告がある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の後押しもあって、ホームで認知症サポーター養成講座を開催し、講師は地域包括支援センターの職員が担当した。法人が支援している地域のサークル(50歳以上の健康な地域住民で構成されている)のメンバーとホームの職員を対象として実施し、今後も継続実施の予定である。来年度からは、毎月「認知症カフェ」を開く計画がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホーム訪問時や運営推進会議への出席時、家族会等で、家族の意見や要望を聞き取っている。夏には、家族会を兼ねた恒例のバーベキューが実施され、利用者と共に家族も料理に舌鼓を打つ。毎月ホーム便り「新かんべ通信」を発行しており、担当職員が利用者一人ひとりの情報や日々の様子を、手書きで書き加えて家族に送っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎	